

昨年、建設業者（インターンシップ（就業体験）した、松山工業高校土木科3年生の水木敬介さんと藤原銀次さんにお話を聞きました。

充実した
本当に楽しい
5日間
でした！！



コンクリート工場で強度試験。さちんとできたかな？



建設現場の見学を実施しました。



愛媛大学で災害のメカニズムの講義を受けました。



採石場で発破見学。規模が凄いい！！

工業高校では専門的な知識を学生の頃から学ぶことができ、将来の就職にも有利です。クラスが明るく、団結力が強いところも魅力なので、『ものづくり』が好きな人は、ぜひ工業高校に入学して、建設業に触れ合ってもらいたいです。

後輩の皆さんにメッセージをー

将来は、現場でものづくりを行う仕事ができるので、建設企業に入職して道路や橋などのインフラ整備に携わり、地図に残る仕事がしたいです。

将来の目標や夢は？

職場の方たちは、親切で優しい人ばかりでした。昨年の西日本豪雨の土砂災害の復旧工事現場や道路を造っている現場を目の当たりにして、改めて生活を支えてくれている大切な仕事なんだなと思いました。

建設現場で働いてみてどうでしたか？



建設業を体験してみた！ 昨年インターンシップを経験した皆さんの先輩にインタビューしました。



建物の基礎の高さを確認しています。

建物の新築工事現場で測量体験。距離や高さを測りました。



CAD(図面作成ソフト)の操作体験。指導を受けながら図面を作成しました。



自分で考えた木製工作物の図面を作成しています。出来上がりが楽しみです！

普段の授業では習うことのできない貴重な体験ができました。

昨年、建設業者（インターンシップ（就業体験）した、松山工業高校建築科3年生の乗松由佳さんにお話を聞きました。

企業や建設現場の見学に行けることや、授業で木工や製図など『ものづくり』ができることです。『ものづくり』が好きなら、少しでも興味がある人なら、将来の就職にも有利になるので、ぜひ工業高校に来てもらいたいです。

学校（建築科）の魅力は？

卒業後は建築関係の大学に進学し、そこでさらに勉強したうえで、将来は建設に携わる仕事がしたいです。

将来の目標や夢は？

普段の学校の授業では習うことのできない建物が出来あがっていく過程などを、実際に現場に行き、目で見て体感し学ぶことができ、将来にとってもいい経験になりました。

建設現場で働いてみてどうでしたか？

